■ネーミングライツの状況について

■国立市におけるネーミングライツアンケート調査の実施について（概要）

調査目的

安定的な自主財源の確保を目的とした「ネーミングライツ」の導入についての検討を行うにあたり、事業者の意向を把握する。

調査対象

国立市で実施している各種有料広告（ホームページ、市報くにたち、谷保駅跨線橋）に掲載を頂いている事業者及び国立市企業誘致指定企業（計１５社）

調 査 日

平成２５年５月２日（郵送による調査依頼）　５月１７日回答締切

調査内容

【問１】ネーミングライツが導入された場合に応募したいか。

YES

【問２】いくらまでであれば応募したいか。
【問３】どのような施設等を希望するか。
【問４】具体的に希望する施設等があるか。
【問５】どのような効果を期待するか。

NO

【問６】希望しない理由は何か。

【問７】その他意見等の自由記述。

■ネーミングライツアンケート調査結果

◇　回答数　１０社／１５社

◇　回答内容

問１　ネーミングライツが導入された場合に応募したいか。

①是非応募したい（３社）　②応募を検討したい（１社）

③あまり応募したいと思わない（３社）　④応募することはない（２社）

※１社は、対象となる施設等によりその都度検討するとして未回答

問２　いくらまでであれば応募したいか。

①～１０万円（２社）　②～３０万円（０社）　③～５０万円（０社）

④～１００万円（１社）　⑤その他　施設により検討する（１社）

問３　どのような施設等を希望するか。

①市有施設の名称（３社）　②公園施設の名称（２社）

③市道の通り名称（２社）　④その他（２社）

問４　具体的に希望する施設等があるか。

駅前トイレ（１社）　※具体的施設の回答なし（３社）

問５　どのような効果を期待するか。

①広く企業名等を周知できる（２社）　②地域で愛着のある企業となれる（４社）

③地域・社会づくりに参加できる（３社）　④企業ブランド・イメージの向上（４社）

⑤社内のモチベーションの向上（２社）

問６　希望しない理由は何か。

①広告効果が期待できない（２社）　②他の手段で広告活動を行っている（１社）

③既に地域に根差している（０社）　④費用がかかる（２社）　⑤企業ブランドの向上にならない（１社）

⑥モチベーションの向上にならない（０社）　⑦その他（２社）

問７　その他意見等の自由記述。

・設計・企画から施工まで関わりたい。

・ネーミングライツは財源確保に効果があると考えるが、契約期間があることなので、一定期間で呼び名が変わることに少し抵抗がある。

■多摩26市でのネーミングライツ導入状況

市　名	新名称 （旧名称）	契約方法	契約相手方	契約期間	契約金額
八王子市	オリンパスホール八王子 （市民会館）	公募	オリンパス（株）	平成23年4月から10年間	年2,500万円 ※6年目以降協議
町田市	和光大学ポプリホール鶴川 （鶴川緑の交流館）	公募型プロポーザル	学校法人和光学園 和光大学	平成24年9月から平成34年3月	年450万円
稲城市	オーエンス健康プラザ （健康プラザ）	公募型プロポーザル	（株）オーエンス	平成25年4月から平成29年3月	年120万円
武蔵村山市	ー （総合体育館）	募集に対し応募なし	ー	5年間	年50万円以上